

気軽に散策し、憩い楽しめるような水辺空間を目指して

いしのまき水辺の緑のプロムナード計画 策定中

市では、市民の皆さんや観光客が旧北上川や北北上運河などの水辺を気軽に散策できるよう「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」を策定中です



策定の背景と目的

石巻には、悠々とした流れを感じる旧北上川や近代日本開拓の息吹を感じる北北上運河(貞山運河)、潮風を感じ往來する船舶を眺められる雲雀野海岸などの貴重な水辺空間があり、水運で栄えた石巻の顔、そして貴重な観光資源です。

しかし、これら水辺空間は、歩行者が安全で快適に歩くための散策路(プロムナード)が整っていないことや道が不連続で歩きにくいなどの問題課題があり、市民や観光客が気軽に水辺に近づき散策を楽しめる環境にはなっていません。そのため、水辺のすばらしさを感じ、安全で快適に散策できる「いしのまき水辺の緑のプロムナード」の整備そして水辺の利活用促進を目指して計画を策定していきます。

※プロムナード(Promenade)とは、フランス語で「散歩」あるいは「散歩の場所」「散歩道・遊歩道」を意味する語

水辺の現状

■旧北上川



頻繁な交通量

◆旧北上川の悠々とした流れを感じ、そして石ノ森萬画館や中瀬を眺められる旧北上川の水辺も、散策路が無くかつ頻繁な交通量があるため、快適に歩くことは厳しい状況です。

■雲雀野海岸



散策路が無い

◆雲雀野海岸は、潮風を感じながら往來する船舶が眺められ、海上交易でにぎわったいにしへの石巻を感じることもができる場所ですが、散策路が無く、快適に歩くことができない状況です。

計画策定の考え方(目的・効果)

市民が気軽に旧北上川などの水辺を楽しみながら歴史文化などを知り楽しむ

①石巻の将来を担う子どもたちに旧北上川を学び知ってもらう

②憩いと健康増進

③観光振興

などがあげられます。



プロムナードイメージ

策定までの流れ

①有識者や市民団体など（旧北上川・北北上運河などを活動フィールド）による「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会」を組織し、計画案を策定します。

②懇談会は、計画範囲から景観、歴史・文化、憩い、利活用などのポイントなどを抽出・整理します。それらのポイントをつなぐルートを検討し、計画素案を作成します。

計画策定の範囲

中心市街地活性化との連携を念頭として中心市街地を囲む水辺空間（雲雀野海岸～旧北上川～北北上運河）を範囲とします。



③懇談会で作成した計画素案は、プロムナードのユーザーとなる市民の皆さんとの調整、平成22年12月までに計画案を策定し、市へ提言を行います。

④市では平成22年度内に懇談会からの提言をベースとして「石巻かわまちづくり計画」を同年度に策定し、国土交通省へ計画申請を予定しています。

⑤計画申請後、市では、国や県と連携しながらプロムナード整備を推進していきます。

◇いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会

懇談会の委員は、プロムナードの利活用を重視し、現在、旧北上川や北北上運河にて積極的に活動を行っている市民団体から、また、埋もれた歴史や文化にも光をあてるため、石巻湊の海運舟運に関する有識者（学識者）とプロムナードを観光振興に結び付ける方策として観光関係の有識者（学識者）から選定しています。

オプザバーとして、河川および海岸、港の各管理者が参画しています。（河川・海岸に関する各種情報提供）

懇談会は原則公開としています。

問 河川港湾対策室（内線5612）



▲石井閘門（国の重要文化財）

北上川・石巻湊公開講座

6月から開講中

旧北上川や北北上運河、雲雀野海岸などのことを多くの皆さんに知ってもらおうと企画しました。

平成23年2月まで全14回開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

〔7月の日程〕

7月16日（金） 午後6時～ 市役所6階市民ホール
 17日（土） 午前9時～ 石ノ森萬画館前集合
 20日（火） 午後6時～ 市役所6階市民ホール

6月1日（火）、市役所6階市民ホール
 講師 東北学院大学 齋藤善之氏



講座内容など詳しくはお問い合わせください。

問・問 河川港湾対策室（内線5612）



プロムナードイメージ



中心市街地

プロムナードと中心市街地とを連携させ、線から面への地域活性化への展開も期待されます。